

感覚の大切さを社会と共有するために 第2回感覚フォーラム

Save-our-Senses Forum

10月14日(日) ● 13:30 ~ 15:30

オーディオペーデ研修センター

参加費：500円



タバコの

受動喫煙問題がWHO(世界保健機構)初

の国際条約の締結によって、急速に人権問題として社

会的認知を得るようになり、日本でも目に見える分煙化が進

んだことは記憶に新しい出来事です。

私たちはこの様な考え方を人間の「感覚」の領域にも広げることができると考えています。現代社会にあふれる「感覚刺激の受動喫煙」から

子どもたちや私たち自身の感覚を守る権利を「感覚の尊厳」という言葉に託し、「感覚の尊厳への権利」を広く社会にアピールするための

感覚フォーラムが始まりました。

教育者、医師、療法士、アーティスト、法律家など、それぞ

れの専門を活かした実行力あるアクションを

つくっていきませんか！

<http://homepage2.nifty.com/audio-pade/>

第2回感覚フォーラム・ゲスト
山本百合子(山本記念病院院長)

感覚フォーラム呼びかけ人

佐藤雅史(フォーラム・スリー)、藤井喬梓(作曲家)

竹田喜代子(音楽療法士/オーディオペーデ研修センター)

13:30~13:45 ● フォーラム開催に向けて(竹田喜代子)

13:45~14:15 ● オープニングワーク・音の体験(竹田喜代子)

14:15~14:45 ● 「人の全体性に関わる感覚

——医学と繊細な音体験から」

山本百合子/竹田喜代子/佐藤雅史

16:30~17:30 ● ミーティング「S.O.S.ネットワーキング」

司会進行:佐藤雅史

第1回の感覚フォーラムでは、感覚の問題を純人間的な権利と結びつける新しい視点を共有し、当面の方向性として視覚と聴覚に関わる問題に焦点を絞って活動していくことが確認されました。

第2回のフォーラムでは、感覚と健康の関係についての理解を深めるために、ホリスティックな医療を長年実践されてきた山本記念病院院長で皮膚科の専門医である山本百合子さんにお話を伺います。アトピーと感覚環境の問題なども興味深いテーマになりそうです。また、第1回に引き続き、オーディオペーデ研修センター主宰の竹田喜代子さんによる楽器を使ったワークショップも体験していただき、同センターで目指されている感覚を通じた教育や治療の社会的意味を明らかにします。さらに、それらを社会的なアピールに結びつけていく道を探りたいと思います。



オーディオペーデ研修センター：東急東横線網島駅より徒歩13分/網島駅より92系統日吉行バスにて新田堀(4つ目の停留所)下車徒歩3分

SOS

Save-Our-Senses

お申し込みはtel, faxまたはmailにて参加者氏名・住所・TELをご連絡下さい。

オーディオペーデ研修センター

T/F. 045-543-1394

audio-pd@nifty.com

主催

オーディオペーデ研修センター

協賛

フォーラム・スリー